

## 要素訓練結果報告の概要

### 1. 訓練の目的

本訓練は、予め定められた原子力災害時における応急対策または復旧対策等に関する手順の検証、習熟を行うとともに、体制、資機材の取扱いおよびその実効性について改善を図るものである。

### 2. 実施日および対象施設

#### (1) 実施日

平成24年9月19日（水）～平成25年3月29日（金）

（訓練ごとの実施日については、「添付資料」のとおり。）

#### (2) 対象施設

東通原子力発電所

### 3. 実施体制、評価体制および参加人数

#### (1) 実施体制

訓練ごとに実施責任者を設け、実施担当者が訓練を行う。

詳細は、「添付資料」のとおり。

#### (2) 評価体制

定められた手順どおりに訓練が実施されたかを実施責任者が評価する。

#### (3) 参加人数

「添付資料」のとおり。

### 4. 原子力災害想定概要

#### (1) モニタリング訓練

放射性物質の放出により敷地内の放射線または空気中の放射能濃度が上昇した状態を想定。

#### (2) アクシデントマネジメント訓練

全交流電源喪失により原子炉の冷却機能が全て喪失し、原子力災害対策特別措置法第15条事象に至る事象を想定。

#### (3) 電源機能等喪失時対応訓練

全交流電源喪失、原子炉除熱機能喪失および使用済燃料プール除熱機能喪失の状態を想定。

### 5. 防災訓練の項目

要素訓練

## 6. 防災訓練の内容

- (1) モニタリング訓練
- (2) アクシデントマネジメント訓練
- (3) 電源機能等喪失時対応訓練

## 7. 訓練結果の概要（添付資料参照）

### (1) モニタリング訓練

- ① モニタリングポスト，ダストモニタおよび放水口モニタ等のデータ監視，記録作成について実動訓練を実施。
- ② 緊急時影響評価システムを用いた最大空間放射線量率出現予測地点，大気中放射性物質最大濃度出現地点における線量評価について実動訓練を実施。
- ③ モニタリングカーおよび可搬型モニタリングポストを用いた空気吸収線量率の測定，モニタリングカーによる試料採取・測定について実動訓練を実施。

### (2) アクシデントマネジメント訓練

- ① 炉心損傷後の対応手順について図上訓練を実施。
- ② 炉心損傷後の事象進展については，シナリオ非提示とし，事務局が与える状態に応じた対応手順の検討を実施。

### (3) 電源機能等喪失時対応訓練

- ① 全交流電源喪失，原子炉除熱機能喪失および使用済燃料プール除熱機能喪失を踏まえた緊急安全対策の各対策について個別に緊急時対策要員による実動訓練を実施。
- ② 訓練にあたり，本設機器へ直接影響が生じる手順は模擬とし，現場での動作確認または机上での手順確認を実施。

## 8. 訓練の評価

各要素訓練について定められた手順どおりに訓練が実施されていることを確認できた。  
訓練毎の評価結果は、「添付資料」のとおり。

## 9. 今後に向けた改善点

各要素訓練における当該期間中の改善点および今後に向けた改善点は、「添付資料」のとおり。

以 上

〈添付資料〉要素訓練の概要

## 要素訓練の概要

## 1. モニタリング訓練（訓練実施日：平成25年2月18日，参加人数：8名）

概要	実施体制 (①実施責任者，②実施担当者)	評価結果	当該期間中の改善点	今後に向けた改善点
放射線管理測定訓練 連続モニタ監視，予測線量評価，空気 吸収線量率測定の実動訓練を実施	①放射線管理課長 ②放射線管理課員	良	—	採取試料の追加が必要であるため， 手順の見直しを実施

## 2. アクシデントマネジメント訓練（訓練実施日：平成24年10月4日，参加人数：56名）

概要	実施体制 (①実施責任者，②実施担当者)	評価結果	当該期間中の改善点	今後に向けた改善点
アクシデントマネジメント訓練 シナリオ非提示型の図上訓練を実施	①発電所長 ②原子力防災要員	良	—	—

## 3. 電源機能等喪失時対応訓練（訓練実施日：適宜反復訓練を実施（当該期間内で計123回実施），参加人数：延べ806名）

概要	実施体制 (①実施責任者，②実施担当者)	評価結果	当該期間中の改善点	今後に向けた改善点
緊急時の電源確保に係る訓練 電源車および大容量電源装置等による 電源確保の手順の実動訓練や机上訓練 等を実施	①電気必修課長または発電管理課長 ②電気必修課員，技術課員，放射線 管理課員，品質保証室員，協力会 社作業員または発電管理課員，	良	—	—
緊急時の最終的な除熱機能の確保に係 る訓練 消防車による原子炉への代替注水等の 実動訓練やライン構成等の一連の動作 確認を現場にて実施	①電気必修課長，機械必修課長 または発電管理課長 ②電気必修課員，機械必修課員， 協力会社作業員 または発電管理課員	良	建屋に浸入した海水の仮設ポンプ による排水において，重量物であ る排水ポンプを運搬する台車等を 準備することを手順に追記	—
緊急時の使用済燃料プールの冷却確保 に係る訓練 消防車による使用済燃料プールへの注 水等の実動訓練を実施	①機械必修課長 ②機械必修課員 または協力会社作業員	良	消防車による使用済燃料プールへ の注水時において，消防ホースの 振れを防止するため，固縛用ロー プが必要であることから追加配備 した	—
シビアアクシデント対策に係る訓練 原子炉建屋のベント開放操作に係る動 作確認やホイールローダによる模擬が れき等を用いた実動訓練を実施	①土木建築課長 または放射線管理課長 ②土木建築課員，放射線管理課員 または協力会社作業員	良	—	高放射線下を想定した訓練におい て，作業環境測定手順の明確化を 図るため，手順の見直しを実施